

1月 モニターレポート		担当出張所	山崎出張所
担当区間	大阪京都府境（阪急大山崎駅付近）～桂川羽束師橋（淀川右岸35.4～38.8、桂川左右岸0～5.4km）		
モニター実施日時	令和 2年 1月 11日（土） 14時頃～16時頃		
天 候	晴れ		

（見出し）

今月は、宮前橋から羽束師橋まで桂川左岸をモニターした後、羽束師橋から宮前橋まで桂川右岸をモニターしました。そのため、右岸に関しましては、上流から下流に向けてのモニターとなっています。施設（標識看板）の損傷、ごみの投棄などについて報告します。

（内 容）

<宮前橋～三川合流点から5.0km地点（左岸）>

- ・区間全体に、ウォーキング・ジョギング・サイクリングをされている方がたくさんおられました。
- ・ごみは、ほとんど落ちていなかったです。
- ・青空が広がり、愛宕山も見えました。





<三川合流点から5.0km地点左岸～羽東師橋>

- ・この区間も、ウォーキング・ジョギング・サイクリングをされている方がたくさんおられました。
- ・この区間も、ごみはほとんど落ちていませんでした。
- ・紫や黄色の花が咲いているところがありました。



- ・羽東師橋手前に高水敷に降りる道がありましたので降りてみると、少し気になる場所がありました。近づいてみると、草津みなと残念石と書かれていましたので、家に帰って調べてみました。残念石とは、築城などに使われるために切り出されたものの、いろんな理由で残念ながら使われなかった石のことで、この石は、本当は二条城の城郭になるはずだったそうです。瀬戸内から船で鳥羽の港へ運ばれ、陸路で二条城に運ばれる途中で川底に沈んだということが分かりました。



- ・羽東師橋の真ん中あたりの壁にあった2ヶ所の落書きは消して下さっていました。きれいになった橋を見ると、とても気持ちよかったです。2度と落書きをしないことを願います。



<羽東師橋～三川合流点から5.0km地点右岸>

- ・この区間になったとたん、いたるところに大量のごみが落ちていて残念でした。
- ・黄色の花が咲いていてきれいでした。
- ・羽東師運動広場では、少年野球のチームが練習していました。



<三川合流点から5.0km地点右岸～4.0km地点右岸>

- ・この区間は、ごみは落ちていませんでした。
- ・ウォーキングをしている人がいました。
- ・黄色の花が沢山咲いていてきれいでした。



<三川合流点から4.0km地点右岸～一般道路合流地点手前右岸>

- ・この区間も、ごみは落ちていませんでした。



<一般道路合流地点右岸～三川合流点から3.0km地点右岸>

- ・この区間は、いたるところごみだらけで残念でした。

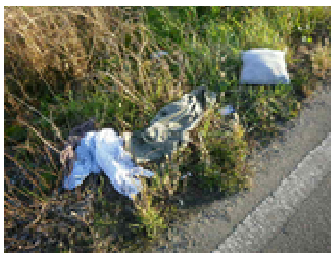


- ・鳥たちの姿は見えませんが、たくさんの鳥たちのさえずりが聞こえてきました。

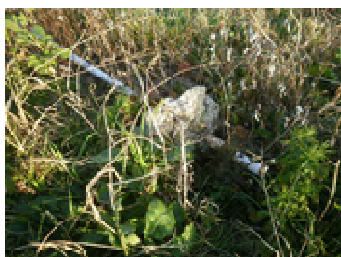


<三川合流点から3.0km地点～宮前橋>

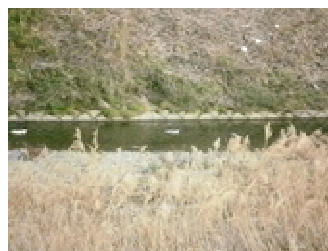
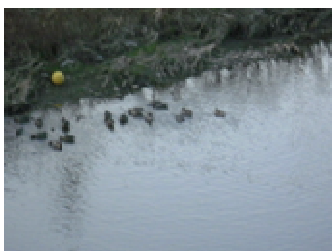
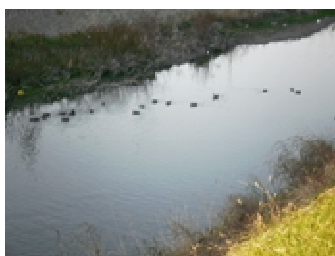
- ・この区間もいたるところごみだらけでした。



- ・水垂町バス停近くの道路脇に根元から標識看板が倒れていました。



- ・区域外ですが、12月に鳥たちがたくさんいた小畑川に今回も立ち寄ってみました。今回もたくさんの鳥達が仲良く泳いでいました。



(意見・感想・処置等)

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さっそくですが、1月のモニターレポートも、盛りだくさんの内容となっていますね。澄んだ青空の下、ほとんどゴミが落ちていない箇所については嬉しい限りです。残念ながらゴミだらけの箇所については、関係各所と連携をとりながら、また回収を行うようにいたします。落書きのあった箇所も比較してみると一目瞭然で、改善が見られて何よりです。また、少し早い春を感じさせるような植物は、紫色のコロンとした「赤詰草」、黄色い花は「キツネノボタン」か「オオジシバリ」あたりでしょうか。ちょっと見分けが付きませんが、散策時に愛らしい花を見かけると、思わずほっこり癒やされますね。倒れている標識看板についても、報告ありがとうございます。標識看板の管理者を確認し、対処いたします。

今回、「残念石」に興味を持っていただいたようで、わざわざ調べていただいたとのこと、ありがとうございます。実は、山崎出張所管内にある「残念石」には、調べて頂いたように、「二条城」の一部となる予定だったものもあれば、「大阪城」の一部となる予定だったものもあります。ちなみに後者については、遡ること、今から約400年前、1615年の「大坂夏の陣」で城が攻め落とされた後、徳川家によって「大阪城」が再建される際、城の石垣の材料とするために切り出されたものの、何らかの理由で使われずに途中で投棄されたのが「残念石」といわれるようになった所以だそうです。近くでは、淀川河川公園（大山崎地区）にも、いくつか点在しています。歴史の影に埋もれてしまった石たち、本当に残念ですね。

季節柄、インフルエンザに加えて、今年は新型コロナウイルス（COVID-19）も注意が必要です。マスクも手に入りにくいですが、モニターの際は、防寒対策とあわせて、帰宅後の手洗いうがいも忘れずに。それでは、来月のモニターレポートもよろしくお願いいたします。